



風力発電に係る環境影響評価手続きの迅速化のため、適正な調査手法の確立は重要です。

しかし、風力発電事業の特殊性からこれまでのアセスメント手法を単純に適用させるだけでは、過不足があることも指摘されています。今回は、リスク評価手法に焦点をあて、実習を通して、適切な予測評価を行うための調査デザインや解析方法に関する技術セミナーを開催します。



環境省北海道地方環境事務所 主催

風力発電アセス図書の 課題とリスク評価の課題

参加費
無料

12/5(火)

募集人数
50名

10:00~17:00

わくわくホリデーホール(札幌市民ホール)
2F 第1会議室

対象者 環境影響評価等に関わる自治体担当者、コンサルタント関係者など

Program

申込方法は裏面をご覧ください。

10:00 開会のあいさつ

10:10 風力発電アセス図書に関する課題

環境省北海道地方環境事務所 環境対策課 環境影響審査調査官 河原 淳

10:40 風力発電アセス図書におけるリスク評価の課題と手法について

徳島大学大学院 社会産業理工学研究部 准教授 河口 洋一氏

12:00 休憩・昼食

13:30 リスク評価の手法について

帯広畜産大学 環境生態学分野 助教 赤坂 卓美氏

※PCを用いた実習を想定しています。用意できる方はモバイルPCを準備ください。

なお、必要なフリーソフトについては、受付後にご案内いたします。

15:50 休憩

16:00 質疑応答

16:30 閉会



【講師プロフィール】



河口 洋一

徳島大学大学院 社会産業理工学研究部 准教授 河口 洋一氏

1970年福井県生まれ。新潟大学大学院自然科学研究科修了。博士（学術）。森と川のつながりに関する研究で学位を取得。その後は蛇行復元、氾濫原湿地の再生、トキ野生復帰など自然再生、風力発電とオジロワシの関係などを研究している。オジロワシ・オオワシ保護増殖検討会 検討委員をつとめる。



赤坂 卓美

帯広畜産大学 環境生態学分野 助教 赤坂 卓美氏

1978年東京都生まれ。北海道大学大学院農学研究科修了。博士（農学）。農地景観保全と再生の指標としてのコウモリに関する研究で学位を取得。その後は景観要素の空間配置と野生動物との関係、河川-陸域生態系の相互作用系を考慮した生物多様性の保全などを研究している。シマフクロウ等環境整備アドバイザー会議委員をつとめる。

【会場案内】

わくわくホリデーホール（札幌市民ホール）

2F 第1会議室

<http://www.sapporo-shiminhall.org/access/>

〒060-0001

札幌市中央区北1条西1丁目 TEL：011-252-3700

※地下鉄 大通駅31番出口正面

※JR札幌駅から徒歩15分



【お申し込み方法】 ※以下の方法からお選び頂き、必要事項をお知らせください。

お申込みの締め切りは、平成29年11月20日を予定しています。

- WEBから： 申込専用フォーム
https://www.jeas.org/modules/liaise/?form_id=28
- お電話で： 03-3230-3583
セミナー開催事務局 日本環境アセスメント協会 担当者；小田（国方）

FAXで：

参加申込書

送信先 03-3230-3876

ご氏名

ご所属・役職名

ご連絡先 TEL・E-Mail

モバイルPCの準備 可能・不可 ※不可でも参加いただけます。
詳細は、受付後にご案内いたします。

このセミナーを何でお知りになりましたか？該当するものを○で囲んで下さい。

チラシ／ホームページ／メルマガなど／知人からの情報／職場からの情報
その他(ご記入下さい：)

※ご記入頂いた個人情報は、個人情報保護法に基づき厳重に管理致します。
本セミナーに関するご案内・お問い合わせ、及びセミナー報告用統計資料にのみ使用します。

【お問合せ】 セミナー開催事務局
日本環境アセスメント協会 TEL：03-3230-3583 FAX：03-3230-3876
E-Mail：jeas@jeas.org 担当者；小田（国方）